



令和7年10月15日(水)  
第 1 3 号



飯塚市立小中一貫校飯塚鎮西校  
中学部・校長 秦 俊明



文化祭 10月10日(金)  
すばらしい合唱コンクール、ステージ発表、展示作品



古いものを大事にしながら、新しいよさを見つけ、一人ひとりの頑張りが「文化」をつくっていています。10月10日(金)本校文化祭が行われました。文化祭を真に値打ちのある内容にしていくために以下のようなことを開会行事と閉会行事で述べました。

「ステージ発表をする人たちは、劇にしても器楽演奏にしても合唱にしても、専門家ではありません。いろいろなところに未熟さがあるのでしょう。展示発表にしても同じことが言えます。しかし、演ずる人は一生懸命なのです。展示をした人たちも、真剣に調査し研究しています。いろいろな教科の発表作品にも努力があります。そうした「真剣さ」を「思いやりの心」で汲み取ってあげることが、ステージと観客とが一体となって盛り上げる基本になります。この文化祭を一つの機会にして、今までよりさらに強く「相手を思いやる心」を一人ひとりの心の中に育ててほしいと願います。」



ステージ発表

- 少年の主張(9年 香月千穂、永岡紗奈)
- 英語スピーチ(8年 田原英明)
- 9年生総合的な学習の時間 ※裏面新聞掲載記事  
「企業コラボプロジェクト、企業が抱える課題を解決へ」
- 放送部(朗読) ○音楽部(演奏)
- 学年合唱(8,9年) ○学級合唱(全学級)

展示発表

- 国語(「詩・ポップ」「短歌」「俳句」)
- 英語(英作文「他者紹介」「名言」、ポスターセッション)
- 美術(「レタリング」「絵文字」「切り絵」)
- 数学(授業での作品)
- 家庭(マイクロファイバークリーナー)
- 総合(「職業調べ(折本)」「キャリアプラン」  
「企業コラボプロジェクト」)
- かしの木(個人作品) ○図書委員会(ポップ)
- 美術部(共同作品、個人制作)

186世帯参加 保護者感想

○ステージ発表は、若い力の将来性を感じる発表でした。  
○どのステージ発表もとても感動しました。少年の主張、英語スピーチはとても考えさせられる内容でした。企業コラボの発表は、論理立てて思考しなくてはいけないのでよい授業だと思いました。朗読よかったです。音楽部の演奏はダンスもあり、見ていて楽しい気持ちになりました  
○各学年、それぞれ成長を感じる合唱でした。ハーモニーがよかったです。9年生は、貫禄がありました。男子パートがとっても声がでていてよかったです。8年生は、本当によく声がでていました。7年生はどのクラスも声がでていました。これからは楽しみです。○展示作品は、どの作品も個性が溢れていて見応えがありました。様々な体験ができてることが何よりも嬉しいです。

合唱コンクール

- 7年生の部 1組金賞 2組銀賞 3組銀賞(最優秀1組)
- 8年生の部 1組金賞 2組銀賞 3組金賞(最優秀3組)
- 9年生の部 1組金賞 2組金賞 3組金賞(最優秀2組)  
ダイヤモンド賞 9年2組

11月の主な行事

- 1日(土) 嘉飯新人(女子バレー) 筑豊新人(サッカー)
- 2日(日) 嘉飯新人(女子バレー)
- 4日(火) 学校開放日 薬物乱用防止教育(6校時)
- 5日(水)、6日(木) 期末考査
- 6日(木) 進路説明会(9年)
- 9日(日) 鎮西地区ウォークラリー(学校行事、全学年)
- 10日(月) 9日振替休日
- 12日(水) オンライン英会話(9年)
- 14日(金) オンライン英会話(8年)
- 17日(月) 後期人権学習
- 18日(火) 劇団による「アラビアンナイト」上演 大アリーナ
- 20日(木) 学校安全の日 PTA役員会 PTA理事会
- 22日(土)、23日(日) 県新人(サッカー)
- 25日(火)~28日(金) 小中合同週間
- 26日(水)~12/4(木) 三者面談(9年)

みんなが歌おう

7年親子ふれあい校外研修「地域探検」

10月31日(金) 9:00~12:00  
下記のコースの中から1つを選び、班で、バスや徒歩で趣き、与えられた課題を班員と力を合わせて解決するというウォークラリーを行います。

(コース)

- 王塚装飾古墳、飯塚市歴史資料館
- 飯塚市歴史資料館、旧伊藤伝右衛門邸
- 旧伊藤伝右衛門邸、囊祖八幡宮・本町商店街
- 羊羹工房洲上、囊祖八幡宮・本町商店街

2025年(令和7年)10月1日(水曜日)

食

宣

# 企業課題 生徒が解決策

## 飯塚鎮西校 幹部ら前に報告会

飯塚市の小中一貫校飯塚鎮西校9年生(中学3年生)約100人が、総合的な学習の時間を活用して地元企



トイレトーパーに企業名を印刷するアイデアを発表する生徒

業が抱える問題の解決方法を考え、導き出したアイデアの報告会を行った。

学習に協力したのは、同市の食品製造業「一番食品」、機械電機製造業「アイテックシステム」、印刷・デジタルコンテンツ作成業「フジキアドワークス」。

6月に生徒がそれぞれの会社を訪れて意見交換し、人材確保や働きがいのある職場作りといった課題を確認していた。

9月26日に行った報告会では、3社の幹部も出席する中、グループに分かれた生徒が、自分たちで作成した動画などを使って解決策を発表した。

人材確保に向けては、「自社の商品や社内の雰囲気やSNSを活用して発信」や「性格診断を取り入れたイベント」の実施」な

どのアイデアが出た。また、会社の知名度向上について「社名を印刷したトイレトーパーを作る」といったユニークな意見もあった。

SNSを用いた求人提案した蒲地燈輝君(15)は「もっとSNSを活用する方法があるのではないかと考えた。どのSNSが(求人)に強みがあるのかを考えるのに苦労した」と振り返った。フジキアドワークスの藤木秀憲社長は「はっ

とさせられるアイデアがいくつかあり、勉強になった」と話した。

